

2018年8月

発行 理事会

生活クラブ生活協同組合

〒524-0044

滋賀県守山市古高町 110 番地 8

TEL 077-514-2028

組合員数 2201名



新しく理事長になりました 秋久保 由紀 です。

滋賀県に来て8年、びわ湖を中心に様々な活動をする素敵な人たちと出会って関わるうちに、私にもできること少しずつと思いい人の子育てしながら活動しています。子どもたちの世代に残す社会は今よりずっと循環型の社会になってるといいなと思っています。(早く大量生産大量消費時代を終わらせたいたい！)

食べ物、環境、エネルギーも私たち大人が持続可能なものを選びながら生活していくことが大切だと思います。

毎日の暮らしの中で、「私のこの選択どうなの？」と考えたり、新しい気づきや組合員との出会いの場所として、また、2200人の組合員が生活クラブをもっと活動場所として身近に感じ“生活クラブ美味しいよね”の共感の輪が広がるように理事会、各委員会で取り組みを進めます。ぜひ、イベントや学習会に気軽に参加してくださいね！

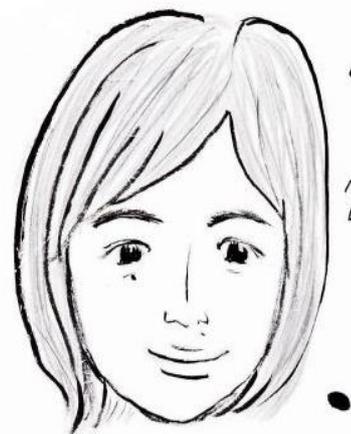
私もまだまだ食べたことのない消費材がいっぱいあります。

試食会や学習会などで消費材の美味しさや産地、生産者を知って利用につなげましょう！

来年9月には10周年を迎えます。記念イベントを計画していますので、組合員、生産者、地域のみんなでお祝いしましょう～

石けん運動、脱原発、憲法お話し会、キッズサポート、食育、子育て委員会、学童、子ども食堂、配達ワーカーズ etc. あれこれやりたいことがたくさんあって、妄想ばかりが膨らんでいますが、一つずつ丁寧に形にしていけるように取り組みます。

どうぞよろしく願いいたします。



6月25日生活クラブ連合会第29回通常総会、生活クラブ共済連第9回通常総会に出席しました。

全国から代議員600名が揃った会場は迫力がありました。全ての議案賛成多数で可決されました。

今回の注目は、「生活クラブ消費材の10原則」の決定。従来の「安全・健康・環境」生活クラブ原則が、FEC自給ネットワークのEとCを除くFについての原則として整理されました。

もう一つは特別決議「NON-GMO政策を堅持し、食の安全・安心を守りましょう。」です。食品表示の見直しが進められて、遺伝子組換えでないという表示ができなくなりそうです。

滋賀でも、新しい10原則や遺伝子組換えについて学習の機会を作り、お気に入りの消費材を増やして、食べる力を集めていきたいと思いたす！



## 生活クラブの消費材 10 原則

### 【前文】

私たち、生活クラブと生産者は、共に対等な立場で消費材\*を開発し、その共同購入を通じて“健康で安心して暮らせる社会”の実現をめざします。

消費とは生命が生まれて死ぬまでの過程そのものであり、何をつくり出し、選び、利用するかという私たちの行動によって未来の命と環境のあり方が決まります。

だからこそ私たちは、原材料の調達から生産、流通、消費、廃棄に至るすべての過程で安全・健康・環境を最大限に尊重し、ここに「生活クラブの消費材 10 原則」を定めます。そして、関わるすべての人が主体的に参加する制度の下に、継続的に目に見える形でこの原則を追求します。

\*生活クラブでは、取り扱う食品や生活用品を利潤追求が目的の「商品」ではなく、実際に使う人の立場にたった材であるという思いを込めて「消費材」と呼んでいます。消費材を通じて、生活の中にある課題の解決をめざしています。

### 第 1 原則 安全性を追求します。

食品添加物や農薬の使用を限りなく削減するとともに、独自の放射能検査を実施することで食品の安全を確かなものとし、人体や食品に直接接触するものへの化学物質の使用についても安全性を追求します。

### 第 2 原則 遺伝子操作された原材料は受け入れません。

生命の倫理に反し、企業による種の支配を招く“食べ物の遺伝子操作”に反対します。原材料だけでなく、飼料などにおいても遺伝子組み換えのものは使わないことを基本とします。

### 第 3 原則 国内の自給力を高めます。

共同購入を通じて、生命の産業である農業・林業・漁業・畜産業の持続力を高めます。飼料や原材料についても国内自給力の向上をはかり、生産体系の持続性と食料の安定確保、地域の環境保全に尽力します。

### 第 4 原則 公正で責任ある原材料の調達をめざします。

原材料の生産環境における生物多様性や、生産に従事する人々の人権に配慮した責任ある調達をめざします。また、外国産原材料・海外産品にもフェアトレードとトレーサビリティを追求します。

### 第 5 原則 素材本来の味を大切にします。

人工的に精製された化学調味料には頼らず、素材本来の味を大切にします。そして、さまざまな食材をバランスよく食べる知恵や文化を共有し、健康で豊かな食を実現します。

### 第 6 原則 有害化学物質を削減します。

“疑わしきは使わず”という予防原則に基づき、健康をおびやかす環境を破壊するおそれのある化学物質の使用を減らすとともに、環境への放出を削減します。

### 第 7 原則 3R を推進し、さらなる資源循環をすすめます。

消費材の生産、流通、消費段階での 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進します。最終的に処分せざるをえない廃棄物を削減し、さらなる資源循環をめざします。

### 第 8 原則 温室効果ガスの排出削減をすすめます。

消費材の生産から流通、消費、廃棄に至るすべての過程で排出する温室効果ガスについて、未来への責任を果たすべく、長期的な視野に立った数値目標をもって継続的に削減をすすめます。

### 第 9 原則 積極的に情報を開示します。

安全・健康・環境に影響を及ぼす情報については、たとえ不利益につながる情報であっても、積極的に開示します。

### 第 10 原則 独自基準を定め、自主的な管理をすすめます。

原材料の調達から生産、流通の各段階で独自の基準を定めて、自主的な管理と点検をすすめます。そして、共に学び、高め合うことができる制度を継続・発展させます。

\* 2018 年 6 月 25 日 生活クラブ連合会 第 29 回通常総会決定

## 第 29 回通常総会 特別決議

### NON-GMO 政策を堅持し、食の安全・安心を守りましょう。

NON-GMO（非遺伝子組み換え作物）政策を取りまく状況は、厳しさを増しています。

まずは日本の状況です。2013 年以降、発泡酒や第三のビールの原料の糖類が、GM 不分別トウモロコシ由来に変更されました。そのため、NON-GM トウモロコシの国内需要は、ここ数年で大きく減少しました。また、消費者庁「遺伝子組換え表示制度に関する検討会」報告書が 2018 年 4 月に公表されました。報告書では、NON-GMO として任意表示できる基準が、これまでの「意図せざる混入率 5%以下」から「不検出」へ変更する、とされました。この変更が今後施行されると、NON-GMO 食品として表示できる品目は大きく減少する可能性があり、NON-GMO 需要のさらなる減少が懸念されます。

一方、米国では、NON-GM トウモロコシの需要が伸長しています。その理由は、オーガニック食品市場の拡大や、2016 年に米国連邦議会で成立した GM 食品義務表示法などによります。米国における需要の伸長は、日本の需要と競合する可能性があります。短期的に、NON-GM トウモロコシの作付・流通量が総需要に追いつかない場合、プレミアム価格の値上がりも懸念されます。

こうした状況のなか、食品原料ならびに飼料として NON-GM トウモロコシを持続的・安定的に確保することが、ますます重要となってきます。すでに生活クラブでは、食品原料そして飼料となる NON-GM トウモロコシの種子を 2022 年までは確保しています。生活クラブが契約に立ち会い、JA 全農、GGB 社、種子メーカーが 2014 年度に締結した「パートナー・プラス・シードプログラム」の成果です。

引き続き 2023 年以降の NON-GM トウモロコシを確保するためには、同プログラムの次期 5 年契約を 2019 年に結ぶ必要があります。その締結に向けて、今年度は重要な年となります。会員単協の討議をふまえて連合理事会で決定した以下の「米国産 NON-GM トウモロコシ継続方針」を確認し、この秋米国へ代表派遣するトウモロコシ・ミッションでは、この間堅調に推移している組員拡大と利用結集の実績と計画を携えて、JA 全農、GGB 社、種子メーカーに対して、将来に向けた私たちの意思として表明します。

- ① 生活クラブは NON-GMO 政策を堅持し、NON-GM トウモロコシの需要を維持します。
- ② 生活クラブは、JA 全農グループと共に進めてきた NON-GM トウモロコシの再生産プログラム（バウチャープラスプログラム、パートナー・プラス・シード・プログラム）と IP ハンドリングを維持・発展させます。
- ③ 生活クラブは、NON-GM トウモロコシの安定確保に向けて長期種子供給協定（パートナー・プラス・シード・プログラム：種子の開発・供給ベース 2021～2025 年）の再締結を JA 全農、GGB 社、種子会社に要請します。
- ④ そのために、生活クラブと JA 全農は、NON-GM トウモロコシプログラムにおいて、1. 安定供給、2. 純度維持、3. プレミアムおよび物流コストの増加抑制を長期的に継続するため、NON-GM 種子と産地生産の確保、IP ハンドリング物流の確保、日本（およびアジア）における需要の結集に共同して取り組みます。
- ⑤ 生活クラブは、NON-GM トウモロコシの需要を維持するため、利用する組員を増やし 2023～2027 年の酪農・畜産品の利用結集を推進します。

以上

**✿生活クラブでんき、今契約したら1000円キャッシュ**

**バックキャンペーン中！！申込みメ切迫る！！8月31日まで**

原発の危険性に目をつぶってのすべての営みは、砂上の楼閣と言えるし、無責任とも言える。そのことに国民は気がついてしまった。問題は、そこでどういう行動を取るかだと思う。 -映画「原発と日本」監督 河合弘之

## ✿ アメリカにパブコメ 提出しました！ ✿

アメリカで食品表示法の見なおしがされています。遺伝子組み換えは自主表示でいいなど、遺伝子組み換え食品が広がっていくような提案です。アメリカの動向は日本にも影響します。生活クラブ連合会、そして滋賀から、遺伝子組み換え表示を義務化すべきというパブリックコメントを提出しました。



## 8月 スケジュール案内



日	月	火	水	木	金	土
			1 びわ湖環境委員会	2	3	4
5	6	7 リフレッシュ ツアー委員会	8 NO-NUKES 委員会	9 消費委員会	10 憲太と法子の 実行委員会	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 NON-GM 委員会	22	23	24	25
26	27	28 せっけんカフェ (しゃぼん玉)	29	30 住吉川親子 ツアー	31 理事会	

## 生活クラブへの質問や、お悩みを募集しています！

☞切り取って、配送担当にお渡しください☞

さざなみ んもん・お悩みズバツと解決コーナー・Q&A 質問用紙

＼待ってるよ〜♡／



お名前 ( )

さざなみにお名前を掲載してよろしいですか？ ( はい ・ いいえ )

## ✿ 広報委員メンバー大募集！ ✿

さざなみの編集、各委員会イベントの取材など、あなたの言葉で記事を書いて見ませんか？  
お問い合わせ 待っていま〜す！